

こうすればできる！
自然エネルギー大幅拡大

こうすればできるカネ・仕組み・人づくり

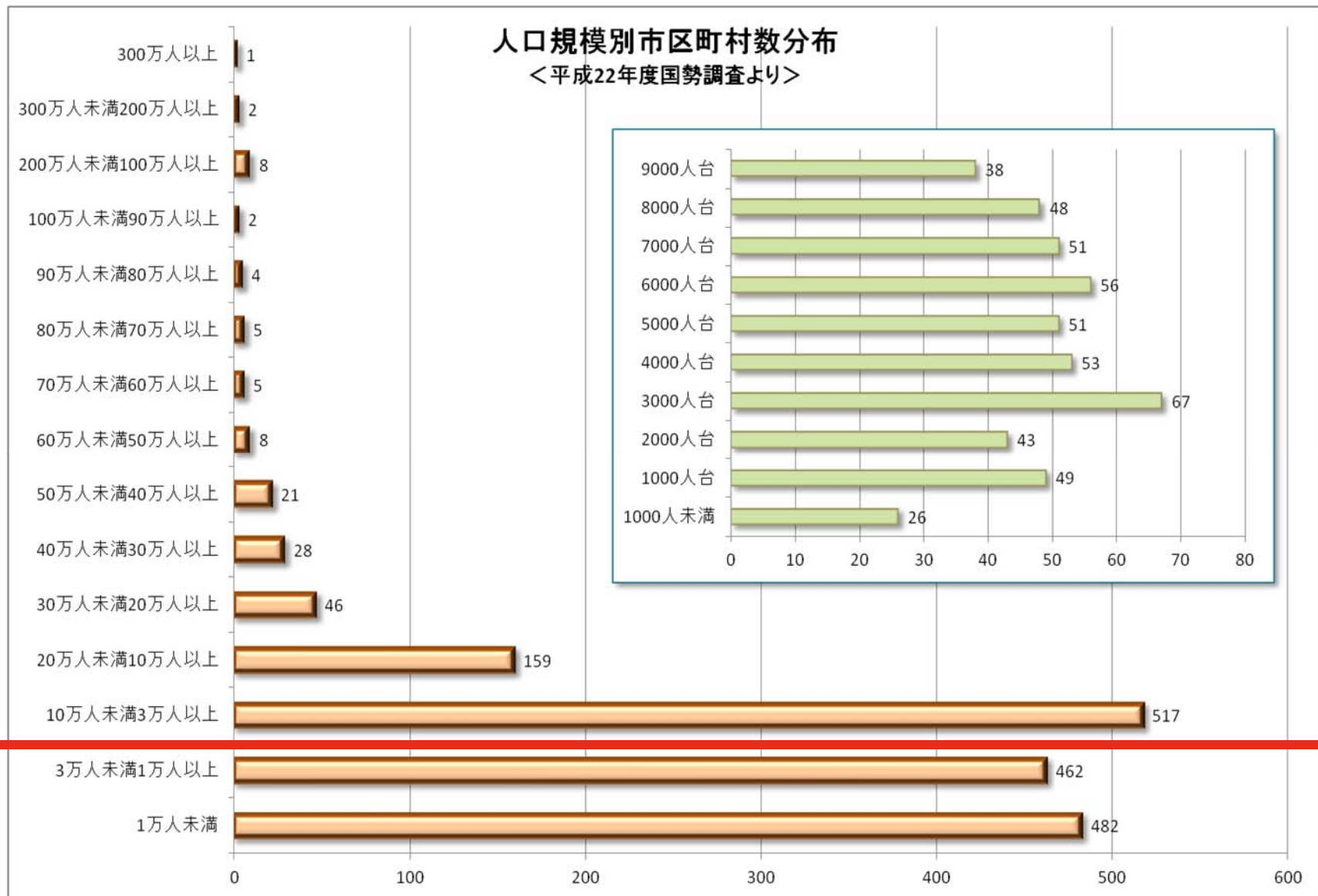
2012(平成24)年6月6日

谷口信雄

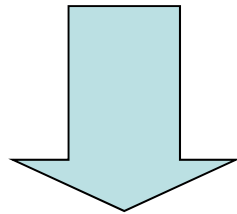
エネルギー事業誘致 から次のステージへ

エネルギー事業誘致より
自前で事業化する方が
地域経済・雇用拡大に一層有効

全国自治体の内、約1000が人口3万人以下 約500が人口1万人以下の小規模自治体



- 限界集落を多く抱える地域は、有望な産業がなく、近い将来地域の社会の存続さえ危ぶまれる。



- 再生可能エネルギーポテンシャルが高い場合、安定した収益が見込まれる地域の産業となる可能性が高い。

地域の自治体は ないないづくし

- (検討しようにも)
情報がない、実績もない
- (事業を始めようにも)
会社がない、専門家がない
- (事業を始めようにも)
お金がない、借りられない

地域はないない尽くしか？

(事業主体)

地域経済の変化、低迷で、事業転換を伺う企業や人材

● (資金)

預貸率の低い地方金融機関に眠る資金

● (情報)

公共的機関、NPOなどの情報支援

こうすればできる

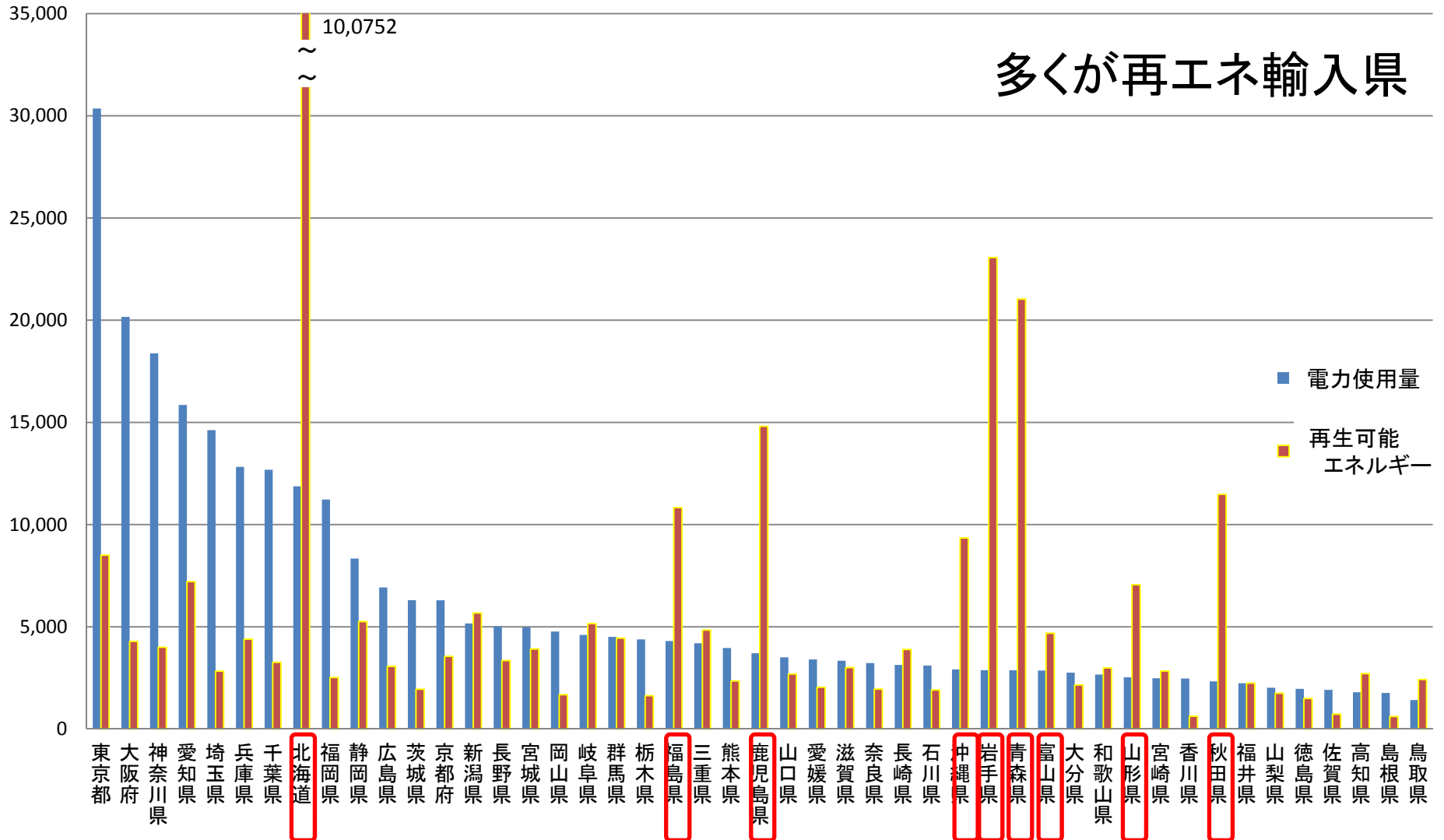
- ①地域に眠るお金を活用する
- ②地域で活かされていない人材を活用する
- ③自治体が地域産業振興の仕組みをつくる

再生可能エネルギー 供給ポテンシャル



再生可能エネルギー—輸出県と輸入県

(単位:百万KWh)



出典:環境省総合環境政策局環境計画課「平成23年版 環境統計集」より作成

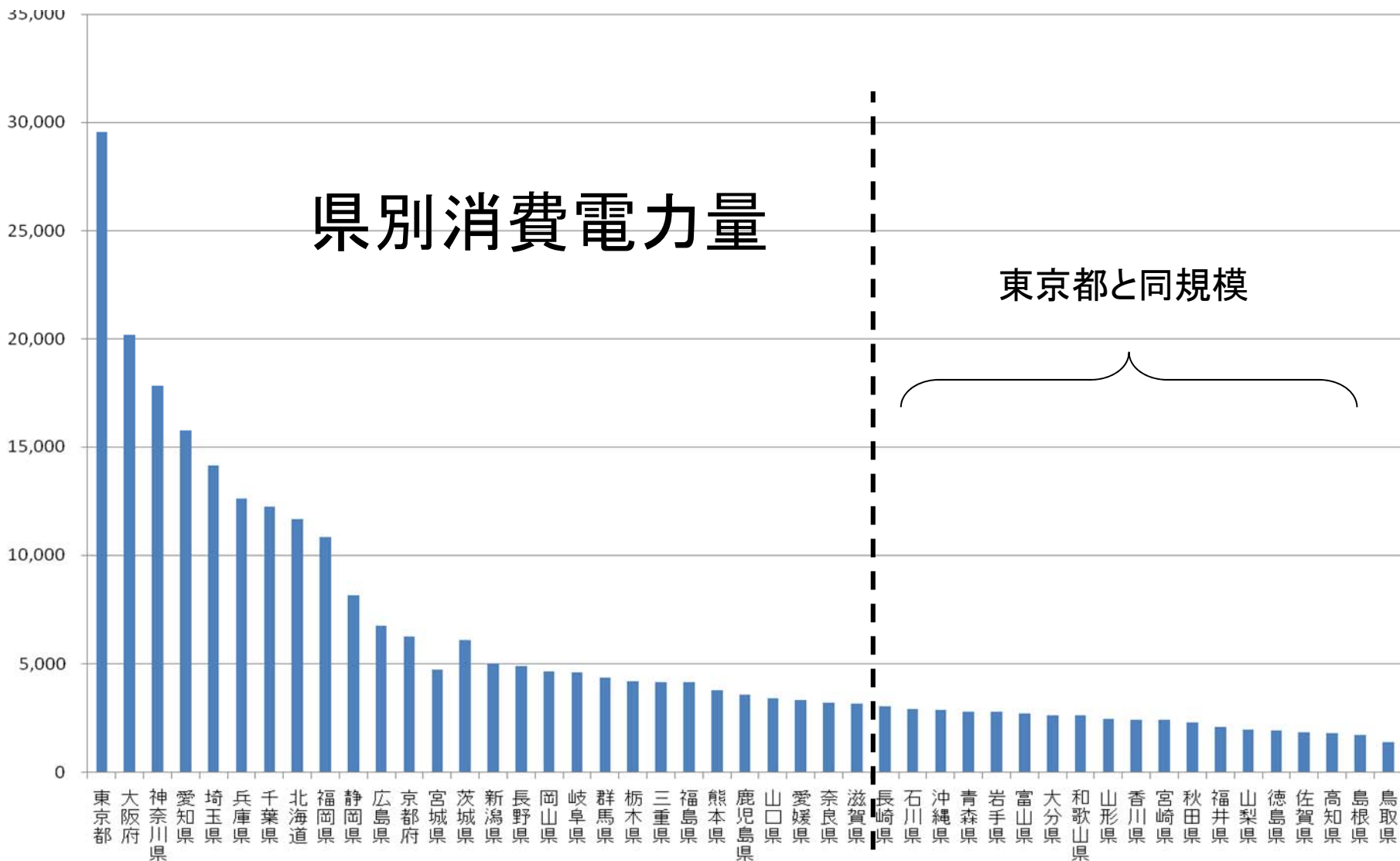
出典:総務省緑の分権改革推進会議 第四分科会「再生可能エネルギー資源等の賦存量等の調査についての統一的なガイドライン」

※シナリオ①の数値を採用。ただし、風力は陸上のものだけとし、洋上はのぞく。

エネルギーの需要はどこに？

県別消費電力量

東京都と同規模



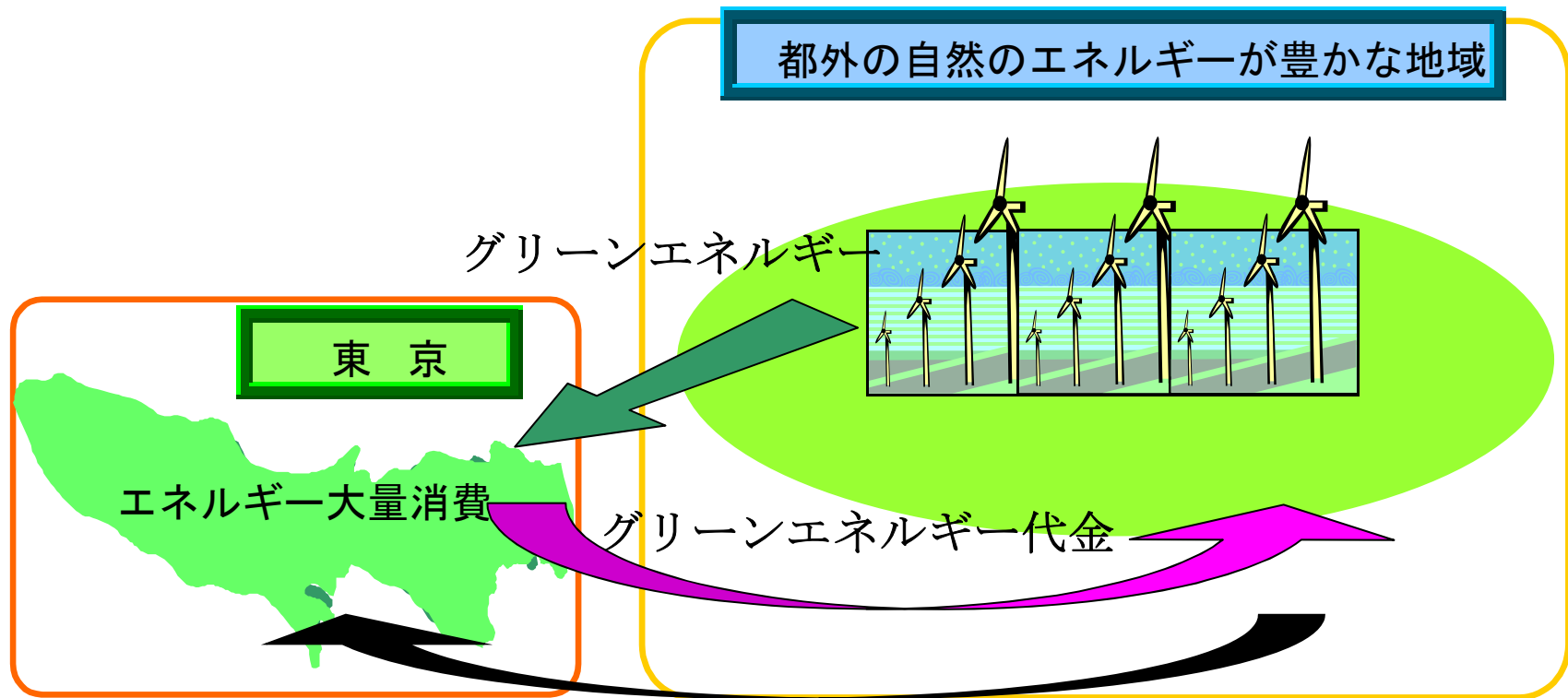
地産都消

(地域で生産し都市で消費)



お米と同じ

都市の需要と自然のエネルギーが豊かな地域との 再生可能エネルギー需給連携



グリーンエネルギー利益東京へ → グリーンエネルギー利益地域へ

地域にお金が落ちているか？

(東奥日報社説2010.2.20)

○青森県は風力発電設備容量日本一(2009.3末)

●県内風車192基

設備容量 27万7100kW

発電電力量 約5億kWh

売上推定(15円/kWh)約75億円/年

●ホタテガイ販売額 約85億円/年(2008年度)

○192基のうち185基は県外事業者

青森県は「風力植民地」？

青森県再エネ利益ポテンシャル

都道府県	太陽光発電	太陽熱利用	陸上風力発電	洋上風力発電 (着床式)	洋上風力発電 (浮体式)
北海道	4,203,265 MWh	1,860,529 GJ	233,303,656 MWh	181,589,211 MWh	590,721,574 MWh
青森県	1,021,399 MWh	500,148 GJ	37,423,697 MWh	18,192,225 MWh	113,821,944 MWh
岩手県	1,120,149 MWh	486,161 GJ	32,848,615 MWh	16,642 MWh	40,771,223 MWh
宮城県	1,777,258 MWh	727,490 GJ	5,215,594 MWh	26,385 MWh	12,965,590 MWh
秋田県	919,688 MWh	379,997 GJ	23,247,114 MWh	5,302,908 MWh	49,694,588 MWh
山形県	991,716 MWh	373,318 GJ	10,474,388 MWh	267,790 MWh	17,885,837 MWh

× 10円/kWh⇒ 10億円

374億円

1138億円